



# 瑞穂の四季

発行：三木市高齢者大学大学院自治会

発行責任者：自治会会長 米村 隆

編集委員：滝本・杉本・常下・木谷

発行日：令和6年11月26日

自治会便り 第60号

## 研究グループニュース



今年度の研究グループのテーマとメンバーが決まりました。

新テーマが4件、昨年からの継続テーマが4件です。

来年の発表会に向かって、見学・調査・資料まとめ等、頑張りましょう

	研究テーマ		代表者	メンバー(敬称略)
1	人生第二幕の論語	新	岸田 雅治	松藤 和代 末陰 宣子
2	儒教について	継続	荻田 俊一	不二 志ほみ 横田 悦子 畑 幸子
3	三木の魅力に惹かれて	新	木谷 千幸	島田 晴夫 山口 輝代
4	時事問題についての理解度アップ	新	三木 清	黒田 俊夫 常下 英子 石井 美夜子 吉田 曙子
5	生活に根付いた方言と諺のルーツを探る(関西編)	新	板井 雅美	杉本 一郎 井上 朝夫 守澤 伸一 川本 千鶴恵 門前 寿美子 佐藤 美良 鍋島 直子
6	未来の農業について	継続	櫻木 穂	大西 照江 中野 由美 本西 和子 山城 信行 滝本 美智子
7	玉鋼の謎 PART2	継続	松本 桂	大西 丈夫 高橋 英明 竹本 誠
8	「民話を楽しむ」 ～民話でみる三木、そのふるさとを 歩く～	継続	米村 隆	矢間 洋子 戸田 ちあき 朝岡 房子 伊東 ミチ子 前田 良子

## グラウンド・ゴルフ大会の成績

11月7日(木)高齢者大学 学生自治会主催のG・G大会が三木総合防災公園で行われました。院生は個人賞のみです。(敬称略)

2位 吉田 曙子(院1) 3位 荻田 俊一(院1) 7位 黒田 俊夫(院1 学友会で参加)以上10位以内 ホールインワン賞は吉田 曙子 黒田 俊夫 守澤 伸一(院2) 横田 悦子(院1) 高原 智子(院1) 常下 英子(院1) 松藤 和代(院1) 滝本 美智子(院2)。 おめでとうございます



## 清掃ボランティア

今年の夏祭りは、8月24日(土)防災公園で花火大会が開催されました。各場には2万人もの市民の皆様が訪れ夜空を彩る花火に1日の疲れを癒された事でしょう。

会場には多くの屋台が出店されて大変な賑わいだったとの事。清掃ボランティアは8月25日(日)の早朝7時より実行委員会事務局の方が用意されたゴミ袋・軍手・火箸を持って回りました。たばこのすいがらと空き缶などを見つけるのが精一杯。皆さまマナーを心得た人達でした。

もちろん、実行委員会の皆さんが各場所に大きなゴミ箱は用意されていました。早朝7時より1時間ほどで終了。楽しい時間に感謝でした。

皆様、大変お疲れ様でした。

## 「夏祭り清掃ボランティア」に参加して



大学院2年 伊東 ミチ子

## 教養講座

9月12日

## 教養講座 「別所氏何故織田方を離反したのか」 三木市高齢者大学大学院（7期生）佐伯節夫

先生は、とても詳しい内容で話され、とても難しかった。以前、「織田信長と三木合戦」で編集を担当した。

播磨は、織田信長の勢力圏になっており、毛利との緩衝地帯となっている。「加古川評定」において、秀吉は別所吉親と三宅治忠に、毛利軍を日にちおかずに倒す計略はあるかと尋ねられ、別所氏に伝わる兵法を秀吉に申し立てた。

別所長治記の記述参考資料に「陰陽道五行説」といった兵法が書かれている。。これを秀吉は聞いて、全体の戦いの勝敗は大將たる秀吉が命令指揮を取るので、別所方は先鋒をつとめてくれればよいと言い放つ。吉親の気持ちは如何に。もっと、秀吉は、名門赤松氏の流れをくむ別所氏に対応の仕方があったのではないかー秀吉の「落度」・・・

別所氏は、毛利輝元から誼を持ってきていると言っているが、どうなのか？ 重棟は、織田方・吉親と長治は毛利方と別れ兄弟の仲が大変悪かった。

毛利元就は、1571年に死没。「三矢の訓」（一本の矢は折れるが三本の矢は折れない）と教えている。後に、毛利輝元・小早川隆景は、豊臣政権の五大老となった。

織田信長は、敵対していた毛利との交戦に秀吉を向かわせた。そして、竹中半兵衛・黒田官兵衛とともに、毛利についた別所氏との戦いとなって、三木城落城。その後、本能寺の変、秀吉は、毛利と和睦。このような戦いは、沢山の人を傷つけ、焼け野原になり大変悲惨。今も、戦争が行われている。平和を守り、平和ボケしないよう生きてゆかねば。

詳しく教えて頂き有難うございました。



大学院1年 木谷千幸

## ハワイアンバンド生演奏&フラ&落語

### 教養講座

9月24日

グループ名「ナレオ・ハワイアンズ」

三木落語協会

「看板のピン」 淡河家桂花(相良 恵一)

「川柳は心の憂さの吹きたまり」 藤野屋虎吉(藤原 英)

夏休み明けの9月12日に配付された講座案内を見た時の感想：次回の教養課程講座は「ハワイアンバンド生演奏&フラ&落語」と書かれてあり、正直「このクソ暑いのにハワイかよ」と憂鬱になったのを覚えています。

元来、音楽に疎い私は、ハワイアン=ウクレレ=漫談家の牧伸二及び、ドリフの高木ブーを連想する程度でしたが、ナレオ・ハワイアンズさんの生演奏を目を閉じて、スチールギターをはじめとする弦楽器の音色、ボーカルの方の歌声を聴いて、若い頃に行ったオアフ島のことを鮮明に思い出すことができました。

ダイヤモンドヘッドの頂上へ息を切らして登ったこと、アラモアナショッピングセンターで迷子になったこと等々を、昔のことを昨日のこのように思い出させてくれる音楽のすばらしさを再認識することができました。

また、見様、見真似できこちなく踊ったフラダンスもたぶん生涯で最初で最後となるであろう良い体験でした。落語については、多くを語る必要がないと思われます。素人演芸の良さを十二分に発揮されていたと思います。

座学で難しい講話も良いけれど、このような体験型の講座の方がより記憶に残ると思いました。

大学院2年 板井 雅美



## <館外研修の豆知識>

### 神戸須磨シーワールドのオルカ(シャチ)とイルカの違いについて

#### オルカ(シャチ)

体長が最大で9メートル、白と黒の特徴的な模様、世界中の海洋に広く生息、体は大きく、力強い印象がある。



右 ステラ(メス 推定38歳 2024年現在)

ランの母親 体長 5.2m 体重 2200Kg

左 ラン(メス 推定18歳 2024年現在)

ステラの娘 体長 5.2m 体重 2000Kg

#### イルカ



体長 2~3メートル、優れた頭脳を持ちクリック音や笛のような音を使って仲間とコミュニケーションをとる。遊び好きで、ジャンプやスピンなどのアクロバティックな動きをみせる。温暖な海洋を中心に生息。

## 高齢者大学大学院 館外研修バス旅行 見学記

行先：神戸須磨シーワールド 日時：2024年10月24日(木)

このバス旅行の関心度が高いことが分かったのは、6月に実施された1学期の館外バス研修の車内で田中先生から次回10月に今話題の須磨シーワールドを見学する予告に対して学生の皆さんが一斉に大声を上げた瞬間でした。

今回1年生18名、2年生18名、先生方3名の合計39名、市のバス2台で出発。6月にオープンしたばかりの神戸須磨シーワールドの入場者が10月12日に100万人を突破、開館わずか134日での達成。もともとあった市立須磨海浜水族館の後継施設として誕生、西日本唯一のシャチのショーをはじめ、イルカやピラルクなど約560種類の生き物が入場者を楽しませている。友達2人と一緒に、シャチのジャンプが見たくて早めに席を確保できたのでゆっくりと楽しむことができました。

次にイルカのショーへと移動しましたが、すでにテレビでよく見る野球場の観客席のような施設で、若い人でいっぱい立ち見となりました。仲間の気遣いで見やすい席を見つけてもらい感謝・感謝です。自分のスマホではうまく写真がとれず、運よく近くにいた友人が、水しぶきを浴びながら決定的なポーズがとれたとのこと、これ幸いに自分のスマホに送信してもらい、即娘に送信すると「お母さんいい写真が撮れたね・・・」と返事がありました。こういう時はスマホの威力の有難さ。

そして昼食は、どこもいっぱいキッチンカーの焼きそばをなんとか買うことができましたが、思った以上においしかった。優雅な食事とはいえませんが、当日の青空の下、思い出深い昼ごはんとなりました。

そして次へと移動です。アクアライブという元の水族館をリニューアルした近代的な施設でした。暗い通路を通りながらエイやサメなどの大きな魚がガラス越しに目前に見えるのに圧倒させられました。

最後にやっと出口にたどり着き、お土産ショップで孫にかわいいイルカのぬいぐるみと思いましたが、ここも人だかり一杯で、帰りのバス時刻も気になり買い物ができず残念でした。



以上、思いつくままに書きとめました。今回瀬戸内沿いの広々とした会場での自由行動など久しぶりのことで少し戸惑いもありましたが、館内では、保育園や幼稚園の園児がたくさん来ておりにぎやかで行儀のよい子供たちにも出会うこともできた。普段三木市では見られない海の風景も満喫できたことなど素晴らしい一日となりました。

いろいろお世話になりました学校関係者の皆様に感謝申し上げます

大学院1年 門前 寿美子

次回の新聞発行は2025年3月を予定しています